

令和2年度 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

高齢化に加え複合的課題も山積する状況ではあるが、地域住民が人を思いやる気持ちは温かく、出来る限りの見守りや支援が継続できている。絶対的に不足しているマンパワーに関する課題解決及び高い専門性に基づく支援の開発を図るために様々な機関と連携を深め、地域共生社会の実現を目指す。

今年度の重点的な取組

新規	継続
----	----

— 具体的な取組内容 —

- | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ○ケアプラザ内全部門(所長・地域包括支援センター・生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーター・居宅介護・通所介護)が参加する定例会議(月1回)を実施し、個別課題及び地域課題の共有及び対応策の検討をケアプラザ全体で行う。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ○地区別支援チームにおいて地域課題の共有と解決策の検討等を行い、支えあい連絡会等を通じて行われる地域支援が適切に展開されるよう取り組む。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ○消費者被害防止や特殊詐欺防止については様々な人の集まる機会を通して、特に周知に力を入れていく。ケアプラザ内に被害防止の情報を掲示したり、近隣で詐欺や悪質商法の情報があつた際には来館者に対し口頭でも周知していく。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ○包括レベル地域ケア会議では、地域看護学教授、行政書士、在宅医療相談室、精神科病院MSW、障害者支援機関、区障害担当医療SW・生活支援課CW、生活困窮者自立支援担当CW、民生委員・自治会役員、地区社協会長など複合的課題を持つ事例に関わる多様な参加者に協力を依頼し、地域特性について理解をして頂き、引き続き課題解決策について一緒に検討する。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ○精神科医との個別相談会を区の事業として引き続き開催予定(年6回)。事例に関わる本人家族への支援、支援者支援としても機能するよう地域の関係機関と協力して実施していく。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

地区別支援チームにおける地域課題の検討から、支えあい連絡会への議事へとスムーズにつなげることができ、より具体性を持った地域福祉保健計画の作成につながった。感染症の関係で人の集まる企画が行えなかったが、広報紙、ハガキ、ホームページ等を用い、地域に役立ちそうな情報の周知に出来る限り努めた。精神科医との個別相談会は予定通り実施し、本人家族や支援者支援の一助となっている。

区からのコメント

・地域福祉保健計画の策定・推進においては、住民が主体的に意見交換し地域課題を検討できるよう、支えあい連絡会の事前準備や会議当日のサポートに取り組んでくださいました。今後も、住民に身近な地域ケアプラザの強みを活かし、地域が一体となり地域づくりに取り組めるような支援を期待しています。
 ・公営住宅特有の課題を多く抱える中で、ケアプラザ内で各職種の連携のみならず、地域資源の把握とネットワークがよく活用されています。地域全体や個別の課題も内部および外部的にも共有・検討され、様々な事象に迅速かつ的確に対応できています。今後も継続して、多様な関係機関との連携および課題解決をお願いします。

令和2年度横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	常に地域住民、利用者が自立した生活を営めるよう地域住民や利用者の主体性を尊重し、自らの意思に必要な社会資源やサービスを選び決められるよう支援する。出来る限りの情報提供をし、選択できるよう最大限に配慮する。	事故防止及び個人情報保護に関する研修を実施し、職員に対する周知及び対応力の向上を図る。特に個人情報の取り扱いについては「やむを得ず個人情報が含まれた文書をFAX送信する際のチェックシート」を運用し漏えい事故防止を図る。
実績	地域住民が自立した生活を営めるよう出来る限り主体性を尊重し、必要な社会資源やサービス等を自ら選び決められるよう資源やサービスが閲覧できる資料やチラシ等を活用し、自己決定支援に取り組んだ。	個人情報保護及び事故防止の研修会を実施し、職員に対する周知及び対応力の向上を図った。特に個人情報の取り扱いについては、行政と相談し、マニュアルを見直し、取り扱い手順書を追加作成し、漏えい事故防止の強化に取り組んだ。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解した上で、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成・実行する。	地域の方々が住み慣れた自宅で継続して暮らすことができるよう安心と信頼を提供する。利用者の意思を尊重し、有する能力に応じて自立した生活を営むことができるよう計画を作成・実行する。
職員体制	看護師1名、主任ケアマネジャー1名、社会福祉士1名、介護予防ケアプランナー2名(専従1名、兼務1名)	ケアマネジャー3名(管理者1名、介護予防ケアプランナー兼務1名)
契約者数	129名	82名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	利用者の生活機能及び生活意欲の維持・向上を図り、住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援を行う。		
実施体制	【実施日数】 週6日 【提供時間】 9:00~16:10 【定員】 40名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】

<p>利用 料金 ・ 実費 負担</p>	<p>【通所介護】 ●1割負担分(7-8時間)1回分 要介護1:695円 要介護2:820円 要介護3:951円 要介護4:1,081円 要介護5:1,211円 ●その他利用料(1回分) 入浴介助:54円、認知症加算:64 円、中重度者ケア体制加算:48円、 若年性認知症利用者受入加算:64 円、サービス提供体制加算1イ:19 円、食費:750円、活け花:600円、 習字:500円、紙パット・紙パンツ: 50~100円</p> <p>【第1号】 ●1割負担分(7-8時間)1ヶ月分 事業対象者・要支援1:1,774円 要 支援2:3,637円 ●その他利用料(1ヶ月分) 生活機能向上グループ加算:107 円、サービス提供体制加算1(週 1):77円・(週2)154円 ●その他利用料(1回分) 食費:750円、活け花:600円、習 字:500円、紙パット・紙パンツ:50 ~100円</p>		
<p>職員 体制</p>	<p>管理者:1名、生活相談員:2名、看 護職員(兼機能訓練指導員):5名、 介護職員:14名、調理員:5名</p>		
<p>契約 者数 等</p>	<p>【延べ利用者数】 10,078人 【契約者数】 97人</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>

令和2年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催 (1と2) 5: 共催 (1と3) 6: 共催 (2と3) 7: 共催 (1と2と3)			■ 事業の性質 1: 優先的に取り組みが求められる事業 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者 7: その他		
--	--	--	---	--	--	---	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ひかりが丘介護者のつどい銀俱樂部	H22	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護者の会、情報提供、虐待防止。場所はひかり商店街の喫茶カブカブ。	1: 高齢者		介護者サロンとして、包括職員とサロン形式で雑談、親睦を深め虐待防止に繋げる事を継続していく。 ・毎月第2金曜日	5	21
2	囲碁教室	H20	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	囲碁を通して高齢者・障害者等、地域の方の居場所作りを目指している。	1: 高齢者		外出することが苦手な高齢男性や精神障害の方などを中心に年齢や障害のあるなしを問わず、囲碁を通して地域の方との交流の場所とする。ボランティアは福祉囲碁協会。 ・毎月第1・3木曜日、第2・4水曜日	0	0
3	古典を学ぶ会	H20	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	高齢や障害で他の方と接する機会の少ない方が、日本の古典を読むことを通して、日常生活を捉えなおす機会を持ち、話し合う場として提供する。	1: 高齢者		講師のご住職の方による、往生要集の講読など。 ・毎月第4木曜日	5	13
4	にこにこ会	H18	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	精神障害の方の居場所作り。	2: 障害児・者	5	会員同士で年間の計画をたて、食事会や外出の機会を設けることで社会性向上や日常生活に寄与する。 ・毎月第4火曜日	6	35
5	子ども科学クラブ	H17	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の小学生の3年～6年生までを対象に、様々な科学おもちゃ工作を通じて科学的興味を育てる。	4: 子ども・青少年		講師の科学博物館ボランティアに毎月違う工作を指導していただく。地域のボランティアも2、3名協力。 ・毎月第3水曜日	0	0
6	ひかりの会	H18	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	脳血管障害による言語障害の方のための親睦サロン。	2: 障害児・者		月に一度仲間と親睦を深め、多少の言語リハビリも行うサロン活動。 ・毎月第4火曜日	6	41
7	癒しの音楽研究会	H22	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民の閉じこもり防止、ストレス解消、心の安定を図る。	1: 高齢者	5	癒し系の音楽(ヒーリング音楽、クラシック、オルゴール等)やリラックスできるような音楽を聴く、あるいは音楽をBGMにしてリラックスした状態で参加者がコミュニケーションをとる。癒しの雰囲気を中心に共同作業も検討。 ・毎月第2日曜日	1	5
8	上白根地区民生委員懇談会	H22	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の民生・児童委員とケアプラザ職員の情報交換・研修等実施による連携強化。	1: 高齢者	5	市営・UR団地の民生・児童委員と地域交流、包括支援センター、居宅介護事業所のメンバーで情報交換・連携強化・研修等を行う。旭区高齢障害支援課の地区担当が参加することもある。勉強会の内容によっては外部講師を招くこともある。 ・毎月第2金曜日	7	93
9	施設連絡会	H20	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域の介護保険施設の相談員と定期的に情報交換を行い、地域課題の抽出・対応の検討などを行う。	6: 事業者		地域の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、高齢者グループホームの相談員等との情報交換や地域課題の抽出・対応の検討、ボランティア支援などを行う。 ・第3火曜日	1	5
10	支えあい連絡会	H16	7: 共催(1と2と3)	2: 発展させるねらい	地域施設連絡会、ひかりネット、SOSローカルネット、あんしんネットワークなどの活動を統括して地域の福祉につなげる。旭区と地域福祉保健計画推進についても、検討する機会。	5: 地域		地域の状況にあったテーマ・時期に会議形式で行う。 ・年2回(9月24日、11月11日)	2	47
11	健康 吹き矢	H26	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	地域の高齢者や閉じこもりの男性等の外出のきっかけづくり、また吹き矢による腹式呼吸トレーニングと腹筋・口の周りの筋力強化による健康増進。	5: 地域		呼吸法を意識しながら、ゲームを楽しむ。 ・毎月第1水曜日、第3月曜日、第4土曜日	0	0
12	みんなの庭	H26	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	園芸を通じた世代間交流。また、ボランティアとして参加して頂くことで、生き甲斐の一助となるような機会の提供。	5: 地域	4	ケアプラザの庭の一部を開放し、季節を感じられる花と緑を年に2～4回植え替え、随時手入れに参加していただく。募集は子どもから高齢者までの地域の方すべて。 ・年2回(5月・11月) + 不定期	8	36
13	歌謡体操	H25	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	健康体操を定期的に行う事で、転倒予防と交流の場をもつ機会を増やしていく。	5: 地域	1	カラオケ機械のライブDAMの歌謡体操を主に利用し、歌いながら体を動かしていけるようにする。また、ライブDAMだけに捉われず楽しく続けられるようDVD(四季の歌)も取り入れ、参加者に自ら選択してメニューを組み立てていく自主性のきっかけとしていただく。 ・毎月第1・3月曜日	13	180
14	Let's介護予防	H30	6: 共催(2と3)	2: 発展させるねらい	介護予防及び認知症予防の体操や栄養改善・口腔ケア等の講座を通して自身の健康管理及び介護予防に関する意識を高め、各種事業及び活動への参加につなげる。	1: 高齢者		ケアプラザによる自主事業及び登録団体による活動等の参加者に向けて、介護予防及び認知症予防の体操や栄養改善・口腔ケア等の講座を実施する。 ・不定期	60	749

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
- 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
- 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
- 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
- 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
- 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	3B体操	H29	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	赤ちゃんから高齢者まで世代に関係なく楽しくリズムカルに体を動かす3B体操、世代間の垣根を排除する事で、地域での助け合いを促進及び健康維持の両方の機会を増やしていく。	5:地域		ボール・ベル・ベルダー(道具)等を使い音楽と共に3B体操を行うことで、多様な世代が参加出来る体操内容とする。 ・不定期	0	0
16	健脚でGO!	H29	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	健康体操を定期的に行う事で、転倒予防と交流の場をもつ機会を増やしていく。立位では運動が難しい方を主な対象とする。	1:高齢者		介護予防を主として講師も出席者も共に健康に介護予防を行えるよう開催。椅子に座りながらもできる、効果的な筋力トレーニングとストレッチを行う体操教室で、リハビリテーション体育士が指導。 ・毎月第2土曜日	5	88
17	大人の料理倶楽部	H29	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	一人暮らしが多く、質素でバランスの取れない食事をしている方も多し。また作りたいけど出来ないし諦めている方や、得意料理が有って人に食べさせたいと考える方等、少人数の中で講師をあえて作らず、自主的に助け合える関係性作りを目指す。長期目標としては担い手の育成を考える。	5:地域		お料理作りを通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに来館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とする。 ・毎月第1・第3金曜日	1	7
18	楽しく健康！ 麻雀くらぶ	H29	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的として開催。	5:地域		麻雀を通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに来館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とする。 ・第4金曜日	0	0
19	社交ダンス 教室	H29	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	社交ダンスを定期的に行う事で自宅から出て交流の場をもつ機会を増やし、介護予防を図る。	5:地域		やさしく、楽しく踊って心と体をリフレッシュ。また、身体に負担を掛けず楽しく健康に社交ダンスを行うことで介護予防を図る。 ・第4金曜日	0	0
20	食品衛生 講習会	H29	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域で食事ボランティア活動に従事されている方々を中心に、食事提供における食中毒予防のポイントを理解いただく。	5:地域		日頃から高齢者食事サービス・サロンなどで食事提供のボランティアをされている方の活動において、食事による事故を予防するための食品衛生講習会を実施。 ・年1回(7月)	0	0
21	上白根・旭北地区振り込め詐欺防止講座	R1	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が、振り込め詐欺などの被害にあわね追う、事前に防止することを目的に講演会を実施する。	1:高齢者	5	地域包括支援センターで神奈川県警のHPの振り込め詐欺情報の内容を整理し、一部クイズ形式で講義をする。 ・不定期	0	0
22	ストラップ プレゼント事業	H30	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	シニアボランティアポイント講習の受講者に対して、積極的なボランティア活動を促すための機会として開催。	5:地域		ストラップを製作し、ひかり福祉フェスタ開催時に地域の方々に配布する。地域の方々が身に付け喜ばれることを通じて活動者としてのやりがいを感じてもらい、次の活動へつなげる。 ・不定期	0	0
23	第18回 ひかり福祉 フェスタ	H12	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の福祉・障害に関わる団体の連携を強める。恒例行事を行うことでケアプラザへの関心を高め、利用をしやすくする狙い。	6:事業者	5	グループがバザーや催しを通じて地域との連携を深める。実行委員会(カブパ他)と共催、包括では介護予防の啓発、地域交流では催しもの事前準備のためのボランティアをコーディネート(引き続き来場者のための記念品を作成するボランティアが事前にも活動を実施)。 ・年1回(11月)	0	0
24	上白根旭区版 エンディングノート活用講座	R1	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の高齢者等が、終末期に向けた不安感を軽減し、より良い人生を送れるよう旭区版エンディングノート書き方講座を実施する。成年後見制度普及も視野に入れ講義を行う。	1:高齢者	5	旭区版エンディングノートをを用い、記述例をもとに項目ごとの意図を説明しながら、一部鉛筆で下書きしてもらい、必要性を認識してもらう。併せて成年後見制度の説明をする。 ・不定期	0	0
25	福祉フェスタ 健康チェックコーナー	H26	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	主に地域の高齢者を対象に健康状態をチェックする機会を設け、健康に対する興味を持ってもらい、しいは介護予防の意識付けをする。	1:高齢者	5	骨強度、ストレスチェック、血管年齢、血圧、身長、体重などを測定。希望者には健康、栄養、口腔の個別相談を行う。健康講話、健康体操を実施する。 ・年1回(11月)	0	0
26	旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展事業	H24	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	来場しているお客様に地域ケアプラザについて知る機会を作る。	5:地域		ケアプラザ機能の周知 ・各ケアプラザの事業をパネルで紹介 ・子育て世代を中心とした多世代交流プログラムの実施(わなげ)	0	0
27	四季の森小学校4年生・視覚障がい者交流会/車椅子の扱い方講習会	H29	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	視覚障がい者と交流し、学ぶことで、視覚障がい者を知る。さらに、車椅子の扱い方を学び、障がいを持った方の接し方を学んだ。またケアプラザの紹介を行いケアプラザを知っていただく。	4:子ども・青少年	2	視覚障がい者と交流し、その方の想いや生活についてお話を伺ったり、点字の実物を見る等、視覚障がい者について学び、また車椅子に実際に触れ、扱い方、気を付けなければならない事について話し合う。更にケアプラザの紹介を行い、ケアプラザを知っていただく。 ・年1回(12月)	0	0

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
28	四季の森小学校4年生と高齢者の交流会	H29	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	小学生と高齢者が一緒に昔遊びをしたり、歌を歌ったり、おしゃべりを楽しみ、多世代交流を行った。高齢者・地域の方々・子ども達双方にケアプラザを知っていたり、交流の場とする。	4:子ども・青少年	1	四季の森小学校の4年生がケアプラザを訪問し、ケアプラザの機能を学んでいただく。その後、1人暮らしの高齢者昼食会で歌を歌うなどの交流を行う。また、昔遊びで、地域の方々、高齢者の方々と交流を行う。 ・不定期	0	0
29	URハマトレ体操	H30	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	ハマトレトレーナーの育成にて高齢者の生きがい・やりがい作りを行い、介護予防を目的とした体操講座の継続・発展・自主化を目的とする。	1:高齢者	5	介護予防を主として講師も出席者も共に健康に介護予防を行えるよう開催。口腔体操等も取り入れる。 ・毎月第4日曜日	7	93
30	地域貢献デー	H25	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	旭陵高校の生徒と一緒に地域福祉を学び、生徒一人ひとりに地域社会の一員であるという自覚と責任を持たせるとともに、様々な活動を通して地域の方々との交流を図る。	4:子ども・青少年		ケアプラザの機能や、地域福祉について学習し、生徒と一緒に清掃活動や高齢者等との交流を行う。	0	0
31	助け合いが当たり前プロジェクト	R1	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	「よこはまシニアボランティアポイント」を通じて、高齢者が地域の介護施設等で活動する事で、ご自身の介護予防・社会参加を通じて「生きがい作り」を促進する為。また、ボランティア(支え合い)への理解を深める事で、地域共生社会へ向けての基盤を作る。	1:高齢者	5	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会 ・不定期	0	0
32	いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるプロジェクト	R1	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	「地域共生社会」に向け、「誰もがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らす」この目標に対し日本全体で課題になっている高齢化に伴い、認知症の方々と地域が関わる事が多くなっている。認知症サポーター養成講座を受講して頂く事で、認知症への理解を深め、気付き、関係機関と連携できる体制整備を進める。	5:地域		認知症サポーター養成講座 ・不定期	1	17
33	夏休み子どもクラブ	H17	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	小学生対象の居場所作りとして始めたが、現在は夏休み中のお楽しみイベント(科学クラブ、クッキー教室、手芸教室など)で恒例となっている。	4:子ども・青少年		定期的開催している子ども科学クラブに加え、クッキー等の手作り教室を開催。	0	0
34	ユマニチュードDVD上映会	R1	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症普及啓発のための地域住民向け上映会。特に認知症の家族を介護している介護者向けの内容であるが、地域で認知症の方やその家族に関わる住民にも役立つものなので、地域での見守り体制作りのために実施。	5:地域		西ひかりが丘団地の住民サロン「つどい」の枠内で実施。DVD全三巻のうち、第一巻「入門編」を9月、第二巻「実践編」を11月に上映。	0	0
35	西ひかりが丘地区エンディングノート書き方講座	R1	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の高齢者等の終末に向けた不安感を軽減し、より良い人生を送れるよう旭区版エンディングノートの書き方講座を実施する。	1:高齢者	5	旭区版エンディングノートをを用い記述例をもとに項目ごとの意図を説明し、一部鉛筆で下書きしてもらうことで必要性を認識してもらう。	0	1
36	大人の倶楽部	R2	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	コロナ禍限定の事業 コロナ禍によって、お料理クラブが全てできなくなった現状において、調理はせず、お料理雑談などをする場を提供する。対象者は基本的に高齢者、一人暮らし等、見守りが必要な方々、なお飲物等は基本持参として、会費は取らない。	1:高齢者		コロナ禍が収束するまで、月に1回第一金曜日に集まり、高齢者、一人暮らし等の見守りを目的としたサロンで、今まで大人の料理倶楽部の第一グループを主に対象にしたサロン	2	11
37	大人の茶話会	R2	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	コロナ禍限定の事業 コロナ禍によって、お料理クラブが全てできなくなった現状において、調理はせず、お料理雑談などをする場を提供する。対象者は基本的に高齢者、一人暮らし等、見守りが必要な方々、なお飲物等は基本持参として、会費は取らない。	1:高齢者		コロナ禍が収束するまで、月に1回第三金曜日に集まり、高齢者、一人暮らし等の見守りを目的としたサロンで、今まで大人の料理倶楽部の第二グループを主に対象にしたサロン	3	30